

奥久慈区域事後評価第1回第三者委員会議事概要

1. 実施日 平成19年6月1日(金)

2. 場所 茨城県大子町

3. 出席者

第三者委員	安藤 光義	東京大学大学院准教授
〃	斎藤 和子	地域興しマイスター
〃	中嶋 康博	東京大学大学院准教授
〃	松本 治郎	(財)常陽地域研究センター 研究参与
〃	溝口 勝	東京大学大学院准教授

(敬称略、五十音順)

事務局等 農林水産省農村振興局総務課係長
(独)緑資源機構計画評価部長 ほか

4. 現地調査の概要

区画整理団地及び農業用道路等の現地調査を行い、受益者から事業前後の農業経営及び地域農業の変化、事業の波及的效果等について聞き取りを行った後、意見交換を行った。

5. 第三者委員会の概要

委員長選出

委員長には、全会一致で中嶋委員を選出した。

8月の公表に向けた今後の委員会の運営

第三者委員会の今後の進め方については、今回の委員会での意見・指摘を踏まえ、事務局で資料等の整理を行い、次回の委員会で意見のとりまとめを行うこととした。

意見・指摘等

地域の担い手が早くからこの事業の完了を見込んで農地の流動化とライスセンターの新設等に計画的に取り組んだ結果、米価の低い現在でも経営を維持できており、事業はタイムリーに行われたと評価できる。

関連事業を含む事業全体において、当初の農産物の生産・流通計画と現状とに違いが生じていると思われるので、費用対効果算定に当たっては詳しく検討する必要がある。

農業用道路の整備により、農用地が点在する中山間地でも担い手の行動範囲が広がり、整備された農用地が維持されている。